

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2025年 8月 25日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	東洋埠頭株式会社
所在地	〒104-0053 東京都中央区晴海一丁目8番8号
代表者役職・氏名	代表取締役社長 原 匡史
担当者連絡先	電話：03(5560)2711 (担当:田中)
	メール：kouhou@toyofuto.co.jp
ウェブサイトURL	https://www.toyofuto.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>当社は、1929年（昭和4年）に南満州鉄道株式会社の物流部門として設立された日満倉庫株式会社をその前身とし、物流事業（倉庫業、港湾運送事業、自動車運送業、国際運送取扱業等）及びその関連業務を行っています。</p> <p>港湾物流サービスは当社の基幹となる事業の一つです。</p> <p>【外航内航船荷役】大量ばら物貨物について、大型クレーンや専用のコンベアラインといった大型設備を運用して迅速・確実な本船荷役を行っています。また、広大な野積場や穀物サイロ群を岸壁背後に配し、効率的な荷捌きを行っています。</p> <p>【コンテナターミナル】川崎港・常陸那珂港・志布志港の3か所でコンテナターミナルの運営を行っています。</p>
---

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 ✓経済	環境負荷の少ない施設・設備導入、更新 ・倉庫など施設の照明のLED等への更新 ・空調機、冷却機等の環境負荷の少ない冷媒への更新 ・エコカーへの更新	・照明のLED、LVD等の比率を高める ・環境負荷の少ない冷媒の比率を高める ・業務用車のエコカーの比率を高める (現状 34台 /53台)
□環境 ✓社会 ✓経済	人材育成 ・能力向上、キャリアアップの促進	・研修活動の充実、教育研修の機会の増加 個人能率の向上(1人当たりの売上高の向上)
□環境 ✓社会 □経済	コミュニティと地域活動 ・地域社会への貢献	・当社事業への理解促進、清掃活動、地域振興への参加等の社会貢献活動の増加

(次項へ続く)

## SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	<b>【差別の禁止】</b> ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	・内部通報窓口(相談窓口:社外取締役、業務監査部内)の設置、相談できる体制の整備。 ※内部通報規程で明記					5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7	
	<b>【ハラスメント禁止】</b> ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・就業規則にハラスメントを禁止する旨の明記 ・グループ全従業員対象にハラスメント防止をテーマにしたコンプライアンス研修を実施し、各部門にて問題になる恐れのある事例の話し合い、及びアンケート形式により、問題の早期発見に努めている(年2回) ・内部通報窓口(相談窓口:社外取締役、業務監査部内)の設置、相談できる体制の整備 ※内部通報規程で明記					5.1 5.2 5.5				8.5 8.8							16.1	
	<b>【労働時間】</b> ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・経営陣を含めた労働基準法等の改正内容の共有 ・勤怠システム利用による時間外の管理 ・支店長会議等において所属長による残業状況を確認									8.5 8.8								
	<b>【外国人労働者】</b> ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	・内部通報窓口(相談窓口:社外取締役、業務監査部内)の設置、相談できる体制の整備 ※内部通報規程で明記				4.4					8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						
	<b>【労働安全衛生】</b> ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・安全・品質管理部による定期的な事故防止研修の実施、現場パトロールを含む実地確認を実施 ・作業マニュアル見直し等による現場ノウハウの蓄積 ・各部門の安全衛生推進計画の見直し、評価実施(3か月に1回)			3						8								
	<b>【メンタルヘルス】</b> ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・ストレスチェックの実施(年1回)、高ストレス者へのフォローなど、メンタルヘルスケアの推進 ・若年層へのストレスマネジメント研修の実施			3														
	<b>【ダイバーシティ経営】</b> ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・さまざまなキャリアや働き方を選択できるような社内制度の改革推進 ・女性、中途採用者、外国人の区別なく、人材の多様性の確保 ・管理職:女性10.7%、中途採用者17.6%、外国人0%					5.1 5.5				8.5		10.2 10.3						
	<b>【人材育成】</b> ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・OJT研修、階層別研修、自己啓発表彰制度などの体系だったシステムにより、従業員の能力向上、キャリアアップ(若年層の早期昇格を含む)の促進				4	5.5				8	9							
	<b>【公正な待遇】</b> ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	・就業規則、契約書に基づく公正な対応 ・管理職への繰り返しの研修 ・総務部人事課による第三者チェック					5.5				8.5		10.2 10.3						
	<b>【健康経営】</b> ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・年1回以上の定期健康診断受診の促進 ・要所見者へ二次検診の推奨 ・インフルエンザワクチン接種補助			3						8								

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
環境	11 【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	・5S活動(整理 整頓 清掃 清潔 躰)の推進 ・ペーパーレス化の促進。ワークフローによる電子申請システムの運用(社内各種申請・届出、稟議の承認)										11.6	12.4 12.5		14.1				
	12 【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・省エネ法定報告に基づく事業者クラス分け評価制度:Sクラス ・省エネ施設、設備、機材の導入や更新						7.3					13						
	13 【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・省エネ法定報告に基づく事業者クラス分け評価制度:Sクラス ・温室効果ガス排出量の把握と管理						7.2 7.3				12.4	13.3						
	14 【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	・有害化学物質の取り扱い(有害業務)に従事する従業員に対し、法定頻度の特殊健康診断を計画的に実施 ・保護手袋・マスク・保護眼鏡等を着用し、適切な使用、管理を遵守 ・有害化学物質は定められた保管庫で施錠管理し、容器への適切なラベル表示を厳守			3.9		6.3					11.6	12.4						
	15 【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している						6.6									15			
	16 【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	・水質汚濁の防止 ・大型車両用の洗車プールでは循環水を活用し、貯留した雨水を現場での散水に利用					6.4 6.6												
	17 【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している				3.9		6	7					12	13.3	14	15			
	18 【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	・省エネ法定報告に基づく事業者クラス分け評価制度:Sクラス ・Scope1・2について、自社HPで公開 ・環境NGO「CDP」質問書への回答、スコア公開(2024年度:「SME版」にてスコアB)											12.6						
	19 【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	・港湾管理者が策定するCNP計画への対応。 ・東京支店立川営業所、吉井営業所、東扇島支店コンテナターミナル営業所では、再生可能エネルギー100%メニューの電力を使用						7.2						13					
	20 【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる												12.2	13	14	15			
製品・サービス	21 【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	・安全、品質向上のための手順書作成、見直し、教育実施 ・評価表に基づく外部提供者の評価(年1回)による安全性の確保			3.9								12.4						
	22 【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	・ISO9001に基づく物流品質の向上。全社、支店でマネジメントレビューの実施(年1回以上)、改善する仕組みの構築									9								
	23 【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	環境負荷の少ない施設・設備の導入、更新 ・エコカーへの更新 ・倉庫などの施設の照明のLED化 ・ハイブリッド式荷役機械への更新 ・空調機、冷却機などの冷媒の更新					6					12	13	14	15				
	24 【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	・お客様への輸送モード転換の提案 ・営業ツールとしてモーダルシフト効果[CO2削減量計算表]を作成し、社内向けに公開 ・DXの推進による物流サービスの効率化、高度化	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・地域貢献	25 【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	・各地区の港運協会、倉庫協会等への所属、地域の活動への対応				4						9	11	12	14	15		17	
	26 【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・清掃活動、地域振興への参加 ・港湾施設見学会の実施(未来を担う子ども達へ港の学びの体験)				4						11			14	15		17	
	27 【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	・耕作放棄地を活用して農作物を栽培し、保育園の園児や先生方を招いて収穫体験会を開催したほか、収穫物を地域の社会福祉協議会に寄贈								8	9	11	12	13					



カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			

**【記載留意事項】**

- ・各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。
- ・列の高さは適宜修正して頂いて構いませんが、取組がない事項であっても列を削除しないでください。(空欄で結構です。)
- ・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。
- ・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- ・取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- ・「主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したものです。個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。